

令和 6 年度 第 2 回 大阪市障がい者施策推進協議会 精神障がい者地域生活支援部会

1. 日 時 令和 7 年 2 月 13 日（木）午前 10 時 00 分～12 時 00 分

2. 場 所 大阪市こころの健康センター大会議室

3. 出席委員 芦田委員、大野委員、加藤委員、栄委員、澤委員、潮谷委員
島田委員、新田委員、羽室委員、安田委員（五十音順）

4. 会議内容

議題 1 令和 7 年度 大阪市障がい者等基礎調査について

資料 1－1、資料 1－2、資料 1－3 について説明

（委員からの主な意見）

- 調査対象者のうち、医療機関の負担とならない形で、未回収となったものの未回収理由を明確にしてほしい。
- これまで精神科病院の調査っていうのが対象外になっていたが、初めて調査が実施されるというのはとても意義のあることだと思う。
- 今回実施される調査の結果を通じて、地域の中での病院機能や、高齢化の影響の有無などが施策に反映されることを期待する。

議題 2 令和 6 年度こころの健康センターの「にも包括」に係る取り組みについて

資料 2－1、資料 2－2 について説明

（委員からの主な意見）

- 心のサポーターを地域に広げ、精神疾患に関する理解を深めていくためには、自分たちだけで講習をするのではなく、いろいろな人たちに講師になってもらうなど考えていただきたい。
- 入院者訪問支援事業の訪問面接が 1 回あたり 30 分という中で、本人の話を傾聴し、助言をするということは非常に難しい。複数回の利用や、面接時間の延長なども検討してほしい。

議題 3 令和 6 年度から令和 8 年度の障がい者支援計画の進捗報告にかかる資料について

資料 3 について説明

(委員からの主な意見)

- 地域生活支援拠点において、どのように連動しながら動いていけばよいのか等これから一緒に考えていただきたい。
- 当事者からすると、どこに相談すればよいのか等、相談窓口が複雑でわかりにくい。相談窓口の一本化などわかりやすくなることを期待したい。
- 当部会において、高齢者の話は多数取り上げてきたが、子どもから高齢者までオール世代を対象に、次の障がい者を生まないことや、オール世代への対応という視点も持っておきたい。

議題 4 高齢者施設等への入所を希望する方への支援モデルの検討について

資料 4 について説明

(委員からの主な意見)

- いわゆる治療より、生活や介護の場が必要な人に、グループホームや有料老人ホーム、特養などを提供できるように、点と点ではなく仕組みとして取り組んでいただきたい。
- 高齢の方の受け入れを進めていくにあたり、モデルだけではなくてそういったところの具体的な取り組み、配慮の仕方も合わせてモデルの中で組み込んでいただきたい。
- 高齢の機関との連携についても考えていただきたい。